



ぬまくら
憲一

沼倉けんじ

沼倉けんじは思います。

- 人口減、少子高齢化の進行など、今、地域にとって「今のままではますます衰退する」将来の見通しです。その見通しを打破するためには、市政のそれぞれの分野で早く布石を打たなければなりません。
- ひとりひとりが「一関づくり、地域づくり」の担い手としての意識と実践をとおして「希望を形に」市勢発展の取り組みに一層頑張らなければならぬと思います。
- 今は新型コロナウイルス感染症を、三密対策とワクチン接種・マスク着用と手指消毒を徹底し一日も早く乗り越え、安全・安心な地域を取り戻さなければなりません。
- そして、将来にわたりこの地が子や孫が進んで「住みたくなる故郷」であり続けるため、共に前を向いて今を切り拓いていこうではありませんか。

市勢の発展と地域課題解決のため ～発言し、行動し、実現をめざします～

- ・若者の地元定着や結婚支援による人口を増やす対策
- ・将来を見据えたILCの立地の促進と受入れ体制の整備
- ・コロナ対策と医療をベースにした包括ケアの市民生活の安心・安全づくり
- ・たたら製鉄とキリシタン殉教の伝承と市内の産金史跡の日本遺産への登録
- ・次代を担う子どもの健全育成のためのITの活用等の教育環境の整備
- ・SDGsー温暖化対策、住み続けられる地域づくりの持続可能な社会づくりの推進
- ・担い手確保による農業の振興と地元産材活用と木質バイオマス発電による農林業の振興
- ・既存企業や地元商業への支援・相談体制の強化
- ・水門整備や堤防かさ上げによる洪水対策と土地基盤の整備
- ・光ファイバー網や道路の整備、飲料水の確保の社会

沼倉けんじ プロフィール

昭和25年5月 藤沢町大籠生まれ(71歳)
宮城県佐沼高校卒 早稲田大学商学部卒 山一証券勤務
昭和52年 藤沢町職員、国際交流担当、ふじの実開設担当
平成5年7月 藤沢町民病院事務局長
平成12年4月 総務課長
平成19年4月 副町長
議会関係 平成23年11月 市議会議員(1期)
平成25年10月 市議会運営委員長(2期)
現在の主な役職 市議会副議長(3期)
市議会ILC誘致・学術研究都市づくり調査特別委員会委員長
市議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会副委員長
市議会林業振興議員連盟会長

※議員の政策、プロフィール等は令和3年9月時点で作成したものです。